



第60号

でん太通信
den ta tu ~ sin

NPO法人
原発ゼロ市民共同 かわさき発電所 ニュースレター

●発行 2020.12.15. NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

●発行責任者 川岸卓哉

■12/20「4号機完成&5周年記念イベント」のご案内

～クイズで学ぶ！再生可能エネルギーとかわさき発電所の歩み～

理事長 川岸 卓哉

おかげさまで、原発ゼロ市民共同かわさき発電所は、2014年の設立から5周年を迎えることができました。また、本年は太陽光発電所4号機を完成し、発電を開始しています。

そこで、これらを記念して、はじまりとなった1号機と4号機の発電所の現地見学会を行います。お世話になった会員、出資者や関係者の皆様とともに、この5年間の歩みを振り返り、今後の脱原発と再生可能エネルギーへの転換を展望できるよう、楽しくクイズ形式で学ぶイベントを企画しました。クイズ正解者には豪華景品(?)もご用意します。是非、皆様お気軽にご参加ください！

■「4号機完成 & 5周年記念イベント」ご案内

●日時：2020年12月20日(日)

4号機見学会	12:00 ~ 13:30	(マイクロバス)
記念イベント	14:30 ~ 16:30	

●見学会集合場所：東急東横線 武蔵小杉駅 「ららテラス武蔵小杉」前 11:50集合

●記念イベント会場：JR南武線 武蔵溝ノ口駅 マルイ12階 「高津市民館」第5会議室

●主催：NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所 ●参加費無料

注意：マスク着用。体温37.5℃以下。

4号機の見学には危険がともないます。各自の責任の上、スニーカーなど工夫してご参加ください。

●参加申込先 メールアドレス：genpatuzero.hatuden@gmail.com



■10/20、第1回 ZOOM 講座「再エネと民主主義」開催報告

理事 高橋 喜宣

講師：ニールセン北村朋子さん（デンマーク在住）



「日本はとても生きづらく、希望を持って活動をするに多くのエネルギーを使います。しかし今回、デンマークのさまざまな事例を改めて認識し、自分の求める社会が実際にあるという希望を感じることができました」とは10月20日の講座参加者の声です。

毎日、コロナ禍報道の中、重要な情報が伝えられず世の中が変な方向に向かっているのではないかと。例えば、菅首相は「50年脱炭素化」を唱えています、その美名のもと原発も進めています。CO2排出量ゼロという名のもとで原発にも非化石価値という環境価値を与え、再生可能エネルギーの環境価値と同じよう市場で取引売買できるようにしました。これは原発にお金を与える仕組みで、気候変動対策のもとにある持続可能な社会の実現にはなりません。

そのためにどうしたら良いのでしょうか？ その例を今回デンマークの事例で学ぼうと企画しました。デンマークは1970年代から国民的議論のもとで、脱原発と再エネ普及を進めてきたからです。日本では外国の事例を日本語で紹介するのは少ないと思いき、デンマーク語にも堪能なニールセン北村朋子さんに講演をお願いしました。それに対して約48名の方々が参加、約7割35名の方がアンケートに答え、チャットにも25以上の質問をくださり、関心の高さがうかがえました。

アンケートとメールのお礼から。「日本は民主主義といえど多数決と誤解しているようです。デンマークでは幼児から遊びを選択させて、民主主義を学ばせていることに驚きと羨望をおぼえました」「人々の懸念を政治に反映する仕組みやスピードが日本は劣っている部分があり、今後はそれがより大きくハンディになるのかもしれない」「デンマークも市民活動が国を変えたというお話にとっても勇気づけられました」「畜産、肉(牛豚羊)食はCO2排出が大きいことを知らなかったです」など再エネ以外の話題にも関心が高まりました。

■第2回 ZOOM 講座、2021年2月19日午後7時から開催！

「自然共生型の太陽光発電のデザイン —スイスと南ドイツの事例から—」

今、日本の再エネ普及で問題になっているひとは環境破壊型メガソーラーの開発です。東京でも建設反対運動の集会が行われました。山や自然を破壊するのでは本末転倒です。再エネを普及する側からも「これまでの火力や原子力といった集中電力を、メガソーラーという新しい集中電源に置き換えただけという結果に終わりかねない」という懸念の声も。



ドイツやスイスという再エネ先進国はこのような批判や懸念の声に対してどう対処しているのか、スイス在住のジャーナリスト滝川薫女史に講演いただきます。

また、スイスといえば、国民投票で2050年までに脱原発を実現するため、再生可能エネルギーを促進し、省エネを推進する、と決めました（但し2029年の「脱原発達成」は否決）。気候変動問題にもからめ、そんな話もさせていただきます。

詳細は、後日当NPOのfacebook イベントページなどで発表します。

※お申し込みいただいた方に、後日、ZOOMのURLをお知らせします。



■10/17「FEC+W KAWASAKIまつり」に参加

副理事長 加藤 伸子

かわさき生活クラブ生協・高津センターで開催された「FEC+W KAWASAKIまつり」に、『生活クラブでんきの生産者』として参加しました。

毎年この時期、賑やかに開催されてきたお祭りですが、今年はコロナ禍のため飲食中止、来場者も制限。前半はオンラインセミナーを開催し、大勢の方がZOOMで参加しました。後半は、各団体が作成した「1分活動紹介動画」を会場で流すという新しい試みでした。動画作成は各団体ともほぼ初めてのチャレンジだったと思うのですが、工夫を凝らした個性豊かな動画が勢ぞろいし、それぞれの活動を楽しく知ることが出来ました。当NPOも動画の時代に乗り遅れないように広報の腕を磨かなくては！と痛感しました。皆とつながりながら、E（エネルギー）の活動をさらに盛り上げていきます。



■「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」に賛同

副理事長 加藤 伸子

エコちゃんずのロゴマーク



川崎市は11月12日、2050年の二酸化炭素(CO₂)排出量の実質ゼロや再生可能エネルギー100%への転換を目指す脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定しました。

この策定に先立って戦略の趣旨に賛同を表明した当NPO法人は、戦略巻末の「賛同事業者一覧」に掲載されました。また、「脱炭素戦略に係るエコちゃんずのロゴマーク」(ろじいちゃん&のみいちゃん)を利用することが可能となりましたので、お知らせいたします。

『市民・事業者・行政が一丸となって、
2050年CO₂排出実質ゼロを目指していきます』

担当課：川崎市環境局 地球環境推進室

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000120492.html>



「憲法のこころ」

2004年、自衛隊がイラクに派遣されたために、ボランティア3人が武装勢力に拘束されました。その時、国民から「自己責任」の声が上がり、日本の将来に危機感を覚え、声を上げるため後に地元の九条の会に入りました。そのおかげで会を通じて多くの人に出会い、神奈川県民から川崎市民になりました。

宮前九条の会では発足以来、隔月で学習会を開催してきました。2013年に20代の弁護士川岸卓哉さんに講演していただき、好評のため計3度もお願いしました。その後私は、このNPO発足時に会員になりました。総会やイベントにはできるだけ出席するようにしていますが、仕事や九条の会、趣味等に時間が取られ、ゆるい賛同者といった現状です。

川岸さんはかつて講演の中で、日本国憲法の心として最も重要なのは13条だと話されました。「人々はすべて個人として尊重され、生命、自由及び幸福追求の権利がある」という条文ですが、それを実践されてきたからこのNPOがあり、「過労事故死」で弁護士として大きな結果を出せたのではないかと思います。

憲法は国の最高法規で、政府は憲法に基づいた政治を行わなければなりませんし、憲法に反する法律は無効です。しかし安倍政権は、選挙に勝てば何をやっても良いとばかりに憲法違反を繰り返し、引き継いだ菅政権も強権的で、平和な民主国家からますます遠のいていく状況です。今こそ、権力を官邸に集めた忖度政治から脱却し、憲法前文にあるように、「主権は人々にあり、国政を行うための権力は、人々から委託されたもので人々のために使わなければならない」という原点を皆が共有しなければなりません。九条の会は、アメリカに従って「戦争をする国」にしないために作られました。戦争は究極の人権や環境の破壊で、原発は平和に生きる権利を脅かすために憲法違反です。武力で平和はつくれませんので、現憲法を生かした政策が国内外に求められていると思います。



【編集後記】

私は、川や海への環境負荷が少ない「せっけん」を愛用しています。せっけんが自然エネルギーだとしたら合成洗剤は原発であるという例えを、先日のせっけん学習会の講師がおっしゃっていました。コロナウイルスは純せっけんだと20秒で不活化するのに対し、合成洗剤は3分経ってもウイルスが減らない結果だったそうです。年末は、人にも地球にも優しい「せっけん」で気持ちよくお掃除しましょ♪（加藤伸子）

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189（川岸）

でん太通信は、ほぼ隔月15日に発行しています。

